

松山学院 3種目頂点



自転車 先行開催

第79回県高校総体(県教委、県高体連など主催、愛媛新聞社など後援)の先行開催競技。3種目の決勝があり、松山学院勢がトップを独占した。

雨の影響で一部種目は翌日に延期となり、競技最終日の25日は男女計8種目の決勝などを行う。



フォーム意識した松山学院・玉井美紀(女子1000メートルタイムトライアルを制し)「悪天候だったので、自分のフォームを崩さないことを意識した。チームメイトに競り勝ち、自己ベスト更新にもつながりうれしい。最終日も頑張りたい」



【男子スクラッチ決勝】レース中盤でスパートをかけた松山学院・松田奏太郎(左から2人目)優勝した

圧倒中盤から一気

男子スクラッチ(5キロ)を制した松田奏太郎(松山学院2年)は、自慢のスピードとスタミナを生かし、他の選手を寄せ付けなかった。3月の全国高校選抜では3000メートル追い抜きで頂点に立ち、今回のレースも「3000メートルにこだわった走りを見せた」。

男子スクラッチ 松田

残り3000メートルを切った5周目、集団の真ん中付近から一気にスピードを上げ、トップに立った。やや早めのレース中盤でのスパートに他の選手はついていけない。差はどんどん広がった。松田の足は最後まで衰えず、2位を大きく引き離れた。

最終日は、得意な3000メートル追い抜きが控える。狙うは全国総体出場と自己ベスト更新。県総体の初戦を勝ち切り、レーススタートが切れたと次レースを見据えた。(宇和上翼)



【男子ケイリン決勝】序盤から優位に立ち上位を独占した松山学院の3選手(左から山崎帝輝、船山晃矢、日高虎太郎)＝日本トーターリょうまスタジアム

松山学院 圧巻8連覇



第79回県高校総体(県教委、県高体連など主催、愛媛新聞社など後援)の自転車最終日は25日、高知市の日本トーターリょうまスタジアムで男女計8種目の決勝が行われ、松山学院勢が計7種目を制した。男子も校で争う学校対抗も3大会連続で頂点に立った。

自転車7種目で栄冠

男子ケイリンは松山学院勢が3位まで独占、チーム内で短距離を競い合う3選手がトップを狙い、しびきを削った。

6人で争う決勝には、主将の3年船山晃矢と短距離系の主力、山崎帝輝、日高虎太郎の同2年生が進んだ。船山は「まずは後輩2人が戦いやすい状況をつくる」と他校3選手をマークする走りを見せた。

中間で競い上位独占

最後まで足が衰えなかった山崎に軍配が上がった。「1位を取りたかった」と悔しがる船山と日高に、山崎は「同じ高校の先輩や同学年で競い合えたから達成できた」と感謝した。

県高校総体は30日に県武道館で開会式を行い、31日から3日間、30競技(サッカー)男子決勝は6月8日、を美施する。水泳は6月14、15両日に行われる。

- ▽男子スプリント ①松山学院 3分50秒0(船山晃矢) ②川越 3分50秒0(船山晃矢) ③松山学院 3分50秒0(船山晃矢)
- ▽男子スクラッチ ①松山学院 3分50秒0(松田奏太郎) ②川越 3分50秒0(松田奏太郎) ③松山学院 3分50秒0(松田奏太郎)
- ▽男子ケイリン ①松山学院 4分41秒1(山崎帝輝) ②川越 4分41秒1(山崎帝輝) ③松山学院 4分41秒1(山崎帝輝)
- ▽女子スプリント ①松山学院 4分41秒1(山崎帝輝) ②川越 4分41秒1(山崎帝輝) ③松山学院 4分41秒1(山崎帝輝)
- ▽女子スクラッチ ①松山学院 4分41秒1(山崎帝輝) ②川越 4分41秒1(山崎帝輝) ③松山学院 4分41秒1(山崎帝輝)
- ▽女子ケイリン ①松山学院 4分41秒1(山崎帝輝) ②川越 4分41秒1(山崎帝輝) ③松山学院 4分41秒1(山崎帝輝)

頂点めざせ!

県高校総体展望 山崎(松学)、1000メートルタイムトライアルで全国選抜6位の日高虎太郎は、松山学院がケイリンでも山崎(松学)が優勝した。松山学院は、昨夏全国総体7位タイムトライアルの江に大木(松学)、伊藤(松学)が好記録の期待がかかる。

山崎ら松学勢しのぎ 玉井(松学)記録期待

【24日、高知市】男子スクラッチの松田奏太郎(松学)が優勝し、3月の全国選抜大会を制した。松田は「3月の選抜大会は、3月の選抜大会を制した。松田奏太郎(松学)が優勝し、3月の全国選抜大会を制した。松田は「3月の選抜大会は、3月の選抜大会を制した。松田奏太郎(松学)が優勝し、3月の全国選抜大会を制した。」